希望に胸膨らませ

町内で入学（園）式

4月6日、町内2小学校、2中学校で入学式が行われ、小学生23人、中学生28人が真新しいランドセルや学生服に身を包み、新しい第一歩を踏み出しました。

また、8日には小平幼稚園、9日には鬼鹿幼稚園の入園式がそれぞれ行われ、両幼稚園18人の新入園児が、お父さんやお母さんに手を引かれ、少し緊張した面持ちながらも、元気いっぱいに晴れの姿を見せていました。

新入生代表による誓いの言葉（鬼鹿中学校）

記念品を受けとる新入児童代表（小平小学校）

父母や先生・関係者が見守る中、元気に返事をする新入園児（小平幼稚園）

411 文化遺産保存に意欲

臼谷弁財天碑保存会に指定書を交付

臼谷稲荷神社に祭られている「臼谷弁財天碑」が町有形文化財第1号に指定され、上小倉信康町教育委員会委員長から臼谷弁財天碑保存会の工藤雄壽会長に指定書が手渡されました。

町の文化財としては、平成元年に無形文化財第1号の指定を受けた「鬼鹿松前神楽」以来、20年ぶりの指定となります。

交付式で、工藤会長は「臼谷弁財天碑は小平の宝。皆さんの協力を得ながら保存に努めたい」と話していました。

上小倉委員長から文化財指定書の交付を受ける工藤会長

416 交通事故撲滅誓う

小平町交通安全住民大会

小平町交通安全推進協議会主催の交通安全住民大会が文化交流センターで開かれ、住民や交通関係機関から約180人が参加しました。

はじめに、横濱町長が「交通安全の重要性を再確認し大会を事故のない安全なマチづくりの出発点としよう」とあいさつし、その後、留萌警察署の家塚修三交通課長が講演を行ったほか、住民を代表して、鬼鹿地区連合町内会の中原貴会長が決意宣言を行いました。

終了後は、参加者全員で国道232号沿道で交通安全旗の波作戦を行い、通過車輌に安全運転を訴えました。

住民を代表して決意宣言をする中原会長